



Change! 2022 ニュース

No. 29

Change! 2022 推進委員会 2021. 11. 15 発行

▼ 会員増強に思う

「会費を払ってでも入りたくなるクラブ」

元会員増強事業主任・Change! 2022 推進委員

札埜 慶一（熱海）



東日本区ワイズメンズクラブ、現在の最大の課題は「会員増強」。その他の事業はすべて停止しても良いのではないかと思うくらいだが、そこまで危機感を持っていないながら、自分はほとんど気力がなく、動けておらず、反省

のみである。（熱海クラブは45名）

会員増強事業主任の時に、「SNS を使って会員増強を試みるから」と、JEF 高田一彦委員長より500万円の予算付を無理やりお願いして、第一回として280万円をお預かりしたが、1年でやっと30クラブ程度のフェイスブック作成ができたくらいで、ほとんどその後のSNS上の広告活動ができなかった。メンテナンスも含めてそれらを次期委員長に委ねたつもりだったが、つもりだけで伝わってなかったのは私の認識の甘さであった。皆さまには申し訳なく思っている。高田委員長からは、「皆様の会費から支出するものだから大事に使ってくれ。」と言われたのがまだ頭の片隅から離れない。**SNS上の事業は継続され、更新されなければ陳腐化し、コンテンツとしての光を失ってしまう。**予算はまだ半分以上残っているのに、会員増強委員長の自由采配で使える部分がないとSNS広告はしづらいのだが、気がついたらなぜか「猫の首に鈴」がついていて、動きは鈍くなり、さらに方向性も変わった。

その中で、栗本治郎委員長以下 Change! 2022 の皆さまが考案し、佐竹誠さんの協力ですべてQRコード作成、ワイズ紹介動画作成をしていただいたのは称賛に値することだが、問題は、それを使って会員増強をしようとする意識変革までにはまだ結びついていない。一般的

な会社組織であれば、あっという間に使用されていくシステムなのだが、それがうまく流れない。大きな古いゴミが詰まって破裂寸前の土管のようなものである。残念ながら、一般的には歳を重ねてくると交友関係は狭くなり、一人二人と仲間が大霊界に行ってしまう。

逆説的になるが、例えば「熱海クラブ」が無くなって誰が一番困るのだろうかと考えてみると、「ワイズコミュニティ」が無くなってしまふ「私」である。青少年、CS活動等、外向きの活動はしているが、私達がやらなくても地球レベルで見ればそれほど大した影響はないだろう。もちろん毎年の小さな積み重ねが大きな流れになって行くのはわかるのだが、私の感受性が弱くなっているのか、コロナ蔓延下では実感が乏しい。

元東日本区理事の栗本治郎さんが、「楽しくなければワイズではない。」と述べているが、これが「ワイズの真髄」「生きてく上での達成感」なんだろう。難しいことは抜きにして、「親睦」こそがこれらの「根底」にある。ワイズの仲間がいるから、20年以上前に離婚して超半端者の私でも皆さまは受け入れてくれ、まだ細々と生きながらえている。

熱海クラブは再来年60周年記念例会を迎える。私が、第49代会長として50周年記念例会を任されてから、あと2年で10年が経つのだが、ここまで生きていたとは思わなかった。言い訳であるが、会員増強しようすると、もう友人たちは余生でお過ごしの方ばかりになっていて戦力にならない。役に立つのは、私が会員増強事業主任当時の熱海クラブの若い世代、深澤勇弘会長、田中秀宝EMC委員長、役員の皆様等には6人もの会員増強をしていただいた。人と人ダイレクト、SNSによる若い世代、YMCA等にも積極的会員増強活動、世代交代を期待したい。



【2018年沼津区大会での表彰】

「会費を払ってでも入りたくなるクラブ」を目指そう！

《 札幌 慶一さんのプロフィール 》

1954年1月5日生まれ
 2006年9月25日 熱海クラブ入会
 2008 - 2013年 クラブ副書記、会計、副会長歴任
 2013 - 2014年 熱海クラブ第49代50周年会長
 2015 - 2017年 熱海クラブ幹事
 2017 - 2018年 東日本区理事事務局長
 2018年6月2日 世界初のIBCクワッドラングル達成
 2018 - 2019年 富士山部国際・交流事業主査
 2019 - 2020年 東日本区会員増強事業主任
 2019 - 2022年 Change! 2022 推進委員

▼ 各部 会員増強事業主査より

「 あずさ部会員増強事業 」

あずさ部主査 標 克明 (甲府)



Change! 2022「アクションプラン」のゴールが近づいてきました。大川貴久東日本区会員増強事業主任の事業主題「ワイズの未来を照らす若返り実行計画」の事業方針で、10年後のワイズを考えて、即実効性のある「若返り実行計画」が必要とあります。あずさ部でも東日本区の方針にそって、部の会員増強を進めていきたいと思ひます。

今期は、東日本区拡大EMC委員会が月末にZoomで開かれています。そこでの各クラブの試みの情報など参考にしています。またその会議の後、あずさ部だけで拡大エクステンション委員会を菟淵光彦委員長を中心におこなって、新クラブ設立について話し合いをしています。

あずさ部で会員増強の考えを書かせていただいているが、会員数を増やす、又はクラブ数を増やす為には、ただやみくもに勧誘するのでは入会しても長く活動できないことにもなると思ひます。まず他の事業と連携して、大川主任の「誰がみてもこのクラブに入会してみたいと思わせるような魅力あるクラブを企画立案して実行する」ことが必要になると思ひます。時間はかかると思ひますが、あずさ部各クラブが行っているCS活動などを更に充実させて、社会にワイズの活動をさらに知ってもらうことも必要だと思ひます。コロナ禍で活動が思うようにいかない昨今ですが、動きを止めることなく実行していきたいと思ひます。

活動重点はChange! 2022の継続(東日本区2022年12月末目標1,246名)と各クラブ3名の純増、新クラブ設立。例会への出席率を今期より良くして、ドロップ

アウトをなくすことを目標としています。

9月時点で、あずさ部会員176名(7月～9月で5名入会)、甲府21クラブ3名、松本クラブ1名、長野クラブ1名ですが、11月には甲府21クラブで2名の入会がある予定です。

▼ “EMC”の正しい意味は？

ASF 国際事業主任・アジア太平洋地域 IBC 事業主任

田中 博之 (東京多摩みなみ)



“EMC”は、国際協会においては、Extension、Membership、Conservation という3つの言葉を組み合わせた略語ではなく、Extension (クラブ拡張) と Membership Conservation (会員の維持) という2つの言葉を繋げた略語です。いつからかはわかりませんが、東・西日本区では、国際協会とは異なった使われ方をしてきたようです。ただし、東・西日本区でも M、C の語が単独で用いられることはめったにないので、実質的な不都合はなかったと思ひます。

今年度版の東日本区ハンドブックの「ワイズ用語」、「英和対照略語集」では、国際協会での定義に合わせて、以下の様に修正が行われています。

< ワイズ用語 (123 ページ) >

EMC = Extension and Membership Conservation

E は、クラブ拡張(新クラブ設立)、MC は、会員の維持(啓発、退会防止)と増強(新会員獲得)の意。

< 英和対照略語集 (143 ページ) >

EMC Extension & Membership Conservation

クラブ拡張および会員維持/増強

この他にも、日本では「会員数15名以上のクラブ」という意味で良く使われている「グッドスタンディング」も、国際協会での定義[国際憲法ガイドライン410(ハンドブック36ページ)]に基づき、今年度のワイズ用語(130ページ)では以下のとおり示しています。

なお、会員数15名以上(直近3半期)かどうかは、グッドスタンディングと併せて国際投票におけるクラブの投票権の条件です。

グッドスタンディング = Good standing

直近3半期の会費(国際会費、地域会費、区会費)を支払ったクラブを国際協会ではグッドスタンディング(良好な状態のクラブ)クラブと呼ぶ。会員数には無関係である。

▼ ワイズ・ナイトフォーラム

「第2回ワイズ・ナイトフォーラム開催」

地域奉仕・Yサ事業主任・Change! 2022 推進委員

深尾 香子（東京多摩みなみ）



10月24日(日)、敢えて大河ドラマの時間枠に設定された、ワイズメンズクラブを知らない人のために行う紹介プログラム。第1回に続き70名を越える参加者を迎えて、利根川恵子さんのお話しが始まりました。

【写真下】オリンピックのボランティアとして、1年の延期の中で、様々な世の中の批判を聞きながら、ご自身も不安の中、主催者の案内に従って研修を続けられ、専門外の全く新しい事も学んで、期間中には役割をしっかりと果たされたことを伺って、奉仕をする者の姿として本当に素晴らしいと思いました。



私たちは、ワイズメンとして新しい仲間を迎えるにあたって「出来る時に、出来ることをやれば良い。」と声を掛けることがあります、それは自分勝手に、時間や役割を決めて良いということではありません。今般、Zoomの向こうに、もし本当に初めてボランティアをやってみようと思っている方がおられたら、利根川さんの、謙虚さ、根気強さ、広い心を覚えて欲しいものだと思います。

続いて第二部では、北海道北見のキャンプ場に関わる方々からのお話が聞けました。YMCAのプログラムでは、指導者が居る環境で、大自然に囲まれて、国籍の違う人たちとも交わりながら、いろんなプログラムに参加し成長出来ることを「キャンプ文化」と呼び、そこに価値を求めています。 【チミケップ・キャンプを支える皆さん】



私にはこのフォーラムを聴くまで、これが全人教育を目指した教育プログラムであり、それに関わる人々が専

門職なのだという意識が無く---話者の皆さんが言っていた---最近流行っている娯楽としてのキャンプとは全く違うものだという事を、経験から知ってはいましたが、何が違うのか言葉での整理が出来ていませんでした。こういうことが一つずつ繋がって来ると、YMCAの伝統といわれるキャンプの効果は、まだまだ日本には根付いていないのだという事が見えて来ます。

会の後半では、東日本区に広がるYMCAのキャンプ地の課題(例、老朽化した施設の修繕、ユースボランティアとの日程調整、参加者募集の仕方、他)や広報の必要性などが話題になりました。これらの議論は、初めてご参加された一般の方には、戸惑いを与えてしまったかもしれません。しかし、私たちが「自らの宝物の見せ方をどうするか」と真剣に話し合っている姿を見て「私も!」と思って下さらないかな。と期待します。

今回は、奇しくも我々自身の発見というご褒美が貰えました。後日、他の参加者からもナイトフォーラムに対する期待や評価をお寄せいただいています。区としてもこれを一つの契機として、ワイズを、YMCAを、どう魅せるか、どう知らせるか。キャンプ文化の大切さを知っている皆さんと、考えて行きたいと思います。

▼ 第4回 拡大EMC委員会 報告

会員増強事業主任 大川 貴久（熱海）



日時：2021年10月28日（木）

19：00～20：05

場所：Zoom 会議 出席者：20名

《EMC事業委員会＝委員長、委員、部長、会員増強事業主査、エクステンション委員長（EXT）》12名

大川貴久委員長、北海道部：中村義春部長、重堂幸恵主査、関東東部：大澤和子部長、東新部：松香光夫部長、太田勝人 EXT、あずさ部：長谷川あや子部長、標克明主査、菰渕光彦 EXT、湘南・沖縄部：鈴木茂主査、富士山部：小原進一部長、榎本博主査

《Change! 2022 推進委員会》7名

板村哲也、伊藤幾夫、榎本博(重複)、大川貴久(重複)、栗本治郎、佐藤重良、中村孝誠、札埜慶一、宮内友弥 《オブザーバー》1名

大久保知宏（区理事）

【次第】

挨拶：大久保知宏理事の挨拶

議事① 活動報告書の件

- ・各クラブからの活動報告書は 17 クラブから提出
北海道部:1 クラブ、北東部:0、関東東部:6 クラブ、東新部:0、あずさ部:5 クラブ、湘南・沖縄部:0、富士山部:6 クラブ
- ・動画で分かるワイズメンズクラブの10月のアクセス数
熱海クラブ 25 回、甲府21クラブ 18 回、熱海グローリークラブ 15 回、その他 11 クラブ合計 37 回。アクセス 0 回が 11 クラブです。7 月～10 月までの新規訪問者数 591 人、平均滞在時間 1 分 4 秒、YouTube 動画再回数 212 回でした。
- ・札幌クラブからの報告:中村部長のサポートで札幌クラブ初の十勝遠征ジャガイモ掘りに挑戦、YMCA スタッフとの懇親も出来ました。それから、東京むかでクラブからの紹介者をリモート例会に招待しました。
- ・東京グリーンクラブからの報告:コロナ禍で 2 年余り中断していた、「神田川船の会」を復活させる予定。
- ・川越クラブからの報告:今年度からの新規事業である「古本再読」活動が始動。SDGs への貢献度はもとより、クラブの活性化、YMCA とのパートナーシップの強化と効果が現れることをみな期待しております。

議事② 各部の部大会報告

- ・北海道部 中村部長: 部大会を 2022 年 2 月 21 日(土)に開催予定。開催場所は十勝、鹿追町然別湖(しかりべつ湖)で、リアルに大会を開く予定。
- ・北東部: 欠席の為なし。
- ・関東東部 大澤部長: 10 月 2 日(土)にオンラインで開催。立教大学教授の萩原なつ子先生による『人生 100 年時代を生き抜くために』と言う題で講演。オンラインでは 120 人以上の人が参加して頂きました。
- ・東新部 松香部長: 9 月 11 日(土)にオンラインで部大会を開催。70 名が参加して頂き、第一部はワイズと YMCA に関する勉強会を開催し、第二部は音楽を中心に楽しみました。
- ・あずさ部 長谷川部長: 10 月 16 日(土)オンラインで開催。参加者は 74 名(あずさ部員は 60 名)、あとは東日本区の役員、八王子クラブの IBC 台湾の Kaohsiung The Port TAIWAN、中央大学学生 YMCA のワイズ係りの方が参加して頂きました。松本クラブから 5 名、甲府 21 クラブから初参加の人を含め 14 名の参加がありました。記念公演は『Do you 農? タネと野菜のエトセトラ』と言う題で、入会 2 年目の並木真さん(東京八王子)に講演をしていただきました。

した。10 月あずさ部部長通信 No. 5(10 月 22 日発行)に部大会の様子を書いて部内のクラブに配信しました。

- ・湘南・沖縄部 鈴木茂主査: 10 月 23 日(土)戸塚 YMCA でハイブリッドにて開催。リアルで 20 名、リモートで 30 名の参加者、講演は岩室紳也先生(厚木市立病院泌尿器科)による『新型コロナウイルスへの向き合い方』と言う題でお話をして頂きました。
- ・富士山部: 緊急事態宣言下の為、部大会は中止といたしました。

議事③ ワイズ・ナイトフォーラムの件

- ・第 2 回ワイズ・ナイトフォーラムは 76 名の参加、そのうち一般の参加者は 12～13 名。
- ・今回は一般の人が参加しやすいように工夫をしたが、やはり難しかったようです。
- ・第 3 回目のナイトフォーラムは 11 月 21 日(日)20 時より開催します。今回は富士山部の奉仕事業と言う内容で、榎本博さん(伊東)を中心に、一般の人にも分かりやすい形でパネルディスカッションが出来るよう、打合せをしています。
- ・一般参加者がもっと参加してもらえよう、メンバーの皆様からお声がけをしてもらいたい。

閉会の挨拶: 板村哲也直前理事

次回開催は 2021 年 11 月 29 日(月)19 時

▼ 新入会員をご紹介します

会員増強事業主任 大川 貴久(熱海)

10 月には、下記の方が入会されましたので報告します。

No. 新入会者 (クラブ名) 紹介者

1. 横山 裕二 (横浜つるみ) 久保 勝昭

《入会候補者向けにワイズの魅力を紹介する》

ワイズ・ナイトフォーラム

第3回 11月21日(日) 20:00～22:00 Zoom開催

卓話者: 西村隆夫さん(チェンマイクラブ、元国際書記長)

「国際書記長としてのタイでの生活とオリンピックボランティアの経験」

パネルディスカッション: ワイズ青少年事業活動の魅力



下記は参加アドレス。右上は参加申し込みQRコード。

<https://us06web.zoom.us/j/86832303212?pwd=d3NVQkNYM0N1K0ZEaXR0NEFuaVVvUT09>